

意見まとめ用紙 参加校番号【13~16】学校名(高松市立香西小学校)

テーマ 「いじめ」って何? ~私たちが考える「いじめ」について知らなきゃいけないこと~

- ① 「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればよいか考えよう。

いじめについて必要な知識とは「いじめの四層構造」についてしっかりと理解することだと思ふ。そうすることで今自分がどの立場にいるのかを考へることが出来るからだ。そしてその知識を身に付けるためには常に相手の立場に立って物事を考へることが大切だと思ふ。また「いじり」か「いじめ」かという境界線がはきりしない場合でも相手がいやだと思つたらその行動は「いじめ」になるということも頭に入れておくことが必要である。

- ② 自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何か考へよう。

被害者はいじめられていることをまわりの人に言いくいと思ふので気軽に相談することのできる雰囲気づくりが必要だろう。また先輩後輩関係なく仲良くすることで相談することのできる人がふえると思ふ。そのためには異学年交流やあいさつなど身近なことを他の学年と行動すればいいと思ふ。夏のセミナーでは友達にも気軽に相談できるようにスクールカウンセラーの人をよんで話を聞くときに大切なことを聞いてみたい。またカウンセラーの人にどのようないじめがあるのかについて聞くことでいじめ防止できると思ふ。

意見まとめ用紙 参加校番号【13~16】学校名 (宇多津町立宇多津小学校)

テーマ 「いじめ」って何? ~私たちが考える「いじめ」について知らなきゃいけないこと~

① 「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればよいか考えよう。

いじめいじりの境界線。知識や基本的なことを考える。

いじめ防止たいさくすいしん考いじめの具体的な内容を  
知る。いっでも起きてしまう問題。② いじめの法律を知る。相手の立場に立って何がいじめに  
なるか知る。自事として学ぶ。実<sup>際</sup>の体験談を聞いて学ぶ。  
(夏のセミナーでやってみたいこと)全国の取り纏の中からすぐにできそうなことを選び出し、香川県の小  
学校にしよう介したい。げき作りもしてみたい② 自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対処するために、必要なことは何か考  
えよう。

いじめは、せうたい許さないというふんきが大切。

おきてからではおそい。だから起る前に、いじめについて  
今日のサミットのようにいじめについて日ごとから話題  
にしておくことが大切。

③ 共通意きを持ち親子でしか会をひらく。

いじめについてみんなで共通点をもって児童生徒が中心と  
なっていじめについての集会をひらく

意見まとめ用紙 参加校番号【13~16】学校名（高松市立高松中学校）

テーマ 「いじめ」って何？～私たちが考える「いじめ」について知らないといけないこと～

- ① 「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればよいか考えよう。

今回のいじめサミットでは最終的に「いじめについて何がいじめなのかを知り、「いじめ」といじめの境界線を知り、相手の立ちまわり立ちまわり「いじめの共通意識を持ち、それを発信ね」という点にまわりました。ではその方法として私は「今よりもいじめに関する授業を増やす」という方法を提案します。表面的なことだけではなくいじめの生々しい現状を伝えてそのようなことが起こった事に対し人の人間として反省してもらい、自分達の周りでそのような事が起こらないように取り組んでいけるようにしたいです。

- ② 自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何か考えよう。

学校と家庭でのネットワークを作り情報共有はもちろんのこと先生方の熱意ある指導や生徒が自分の意見をはっきり主張できる環境を整えることも必要だと思います。加害ないじめが起きてしまうのは周りに対する「遠慮」によって引き起こされます。なので整える必要だと思います。私たちは誰としても分け隔なく接する人として人をサポートし、そしてなにより人に変わらぬと働きかけることが必要だと思います。この機会に学んだ事を自信をもって周りに発信していきたいと思います。ありがとうございました。2021年の夏には街頭インタビューや香川県の人々の意見を聞くこともしたいです。

意見まとめ用紙 参加校番号【13~16】学校名（高松市立古高松中学校）

テーマ 「いじめ」って何？ ~私たちが考える「いじめ」について知らなきゃいけないこと~

- ① 「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればよいか考えよう。

私は相手を尊重し、他人事下"と思われないことが大切だ"と思いました。そのために何が"いじめ"となるのか、そして"いじめ"の構造を知り、自分がどの立場にいるのか、いじめを止めるために周りにどのような影響を与えられるのか知る必要がある"と思いました。そして次のステップとしてそれを発信する場をつくる"ことが重要だ"と思いました。学校のみならず"地域、そして社会全体に"いじめ"ストップの輪を広げていけると少しずつ"いじめ"の火が小さくなる"と思います。

- ② 自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何か考えよう。

"いじめを許さない"という共通意識を全員が持つこと。家族、先生は身近な存在なので"そこで"のつながりを強固なものにするために集会などの同じ場、体験を共有することはとてもよい案だ"と思いました。そして最終的には社会全体で共通意識を持つことが必要です。7/17の夏のセミナーはこの間いから派生して社会全体で共通意識を持つために私たちがやるべきこと、できることを考えたい"と思います。

意見まとめ用紙 参加校番号【13~16】 学校名（ 坂出市立坂出中学校 ）

テーマ 「いじめ」って何？ ～私たちが考える「いじめ」について知らなきゃいけないこと～

- ① 「いじめ」について必要な知識は何か、そしてその知識を身につけるにはどうすればよいか考えよう。

まずは、いじめについて、正しい知識と理解が必要だと思っています。いじめの4層構造を知り、自分がどの立ち場なのか、それを理解した上で自分はどういった対応をすべきなのかを考えることが大切だと思っています。また、自分だけの考え方でいじめの境界線を決めて、相手と接してしまうので、ほや、様々な立ち場の視点から考えることでより早期いじめ発見につながるのでないかと感じました。この知識は、どう簡単に身に付けられるわけはありません。だから、自分たちで劇や、地域との交流をすることで、少しずつでも身に付けられると思います。

- ② 自分たち、家族、先生が協力していじめ問題に対応するために、必要なことは何か考えよう。

いじめを他人事と考えず、自分事として捉えるという意識が必要だと思っています。もしいじめが起きてしまった時、気軽に誰でも相談できる環境作りをしていかねば、いじめは減らないと思います。また、被害者の人だけに視点を置いて話を聞いてあげるのではなく、加害者の人にも話を聞き、いじめの背景を知るべきだと思っています。学級や全校生でいじめについて考えるのはもちろんのこと、地域でも家庭でもいじめについての理解を深めていくことも必要だと思っています。地域の方にも、もっといじめについて、考えを深めてもらうためには、児童生徒と一緒にセミナーや劇に参加してもらったり、地域の人たちの集いを開くとよりよくいじめに対応できると思います。